



千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部
トーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラ

フレンドシップコンサート

2018年 8月23日(木) 18時開演 / 17時開場

市川市文化会館 大ホール

駐車台数に限りがありますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。

山岡 健



エルンスト・フォン・マーシャル



トーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラ

入場無料 / 全席自由

応募多数の場合は抽選となります。
未就学児の入場はご遠慮ください。

申込み方法

応募締切 7月17日(火)当日消印有効

①往復はがきによる申込み

往復はがきに申込者の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・
入場希望者の氏名(1枚につき2名まで)を明記し、下記の宛先までお送り下さい。
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
公益財団法人千葉県文化振興財団 「フレンドシップコンサート」係

②専用フォームから申込み

http://www.cbs.or.jp/zaidan/orchestra/friendship_dussel.html



■ 千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部

指揮:山岡 健

曲目:チャイコフスキー / 交響曲 第6番 口短調 Op.74「悲愴」より

■ トーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラ

指揮:エルンスト・フォン・マーシャル

バイオリン:ジュリア・ホイスラー

曲目:ベートーベン / バイオリン協奏曲 二長調 Op.61より第3楽章
マーラー / 交響曲 第1番 二長調「巨人」

《合同演奏》シュトラウスI世 / ラデツキー行進曲
ビゼー / 歌劇「カルメン」組曲より

主催:千葉県
共催:市川市

お問合せ: 公益財団法人千葉県文化振興財団 043-222-0077 <http://www.cbs.or.jp/>

千葉県とドイツ・デュッセルドルフ市とは、2005年より音楽、スポーツ、学術研究など、様々な分野で交流を深めています。千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部は、2012年に日本青年館の主催でデュッセルドルフ市を訪れ、ヨハネス教会にて、トーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラと共に、子どもホスピス支援のためのチャリティーコンサートを行いました。

この度、トーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラを千葉県に招待し、日本とドイツの若者が音楽を通して感動を共有し、友情を育み、千葉県とデュッセルドルフ市の未来に向けて発展的な関係を築いていくために、フレンドシップコンサートを開催します。

プロフィール



山岡 健(指揮) Ken Yamaoka, Conductor

ピアノをウラディミール竹ノ内(Vladimir Takenouchi)氏、森ミドリ(作曲家)氏に、声楽をウィリアム・ウー(William Wu)氏に師事。イタリア・クレモナ(Cremona)において巨匠故アルド・プロッティ(Aldo Protti)氏に学ぶ。教壇に立ちながら研鑽を積み、ベルリンドイツオペラ(Berlin Deutsche Oper)のヴィンフリート・バウエルンファイント演出の(Winfried Bauernfeind)の歌劇「I Pagliacci」のペッペ役(Peppe)としてオペラデビューした。「脇役ながらいたって元気、アクティブな芝居で小気味よい…」と音楽誌、新聞等で評された。その他、歌劇「トスカ」(Tosca)「道化師」でアルド・プロッティと共演、オペラはヴェルディ「オテロ」(Verdi:Otello)、「椿姫」(La Traviata)ビゼー「カルメン」(Bizet: Carmen)プッチーニ「トゥーランドット」の皇帝(Puccini:Turandot,L'Imperatore)ポンキエリ「ラ・ジョコンダ」(Ponchielli:La Gioconda)

等で出演した。2004年、2005年と全国学校合奏コンクールで二年連続全国1位になり、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、最優秀指揮者賞を受賞した。2007年より千葉県立千葉女子高等学校に勤務、オーケストラ部顧問としてタクトを振っている。

全日本高等学校オーケストラ連盟理事長

千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部 Chiba Prefectural Chiba Girls' High School Orchestra

千葉県立千葉女子高等学校は、1900年(明治33)、千葉県初の高等女学校として創立され、女子教育の中心として、「自敬」「精思」「清純」教育目標を掲げ、真の教養と品格を持つ人材の育成を目指しつつ、国際交流の推進などに力を入れている学校。

本校オーケストラ部は、1966年(昭和41)創立のストリングオーケストラ部を前身とし、1987年、学校創立90周年記念事業の一環として管楽器・打楽器群の整備が行われ、フル編成のオーケストラとなった。そのレパートリーは交響曲・協奏曲から映画音楽まで幅広く、クラシックバレエ、日本舞踊、琉球舞踊、フラメンコ、和太鼓等にも挑戦してきた。毎年5月に習志野文化ホールで行われるスペシャルコンサートの他、四部合同の定期演奏会、JR千葉駅コスモスコンサート、千葉県立美術館、小学校、世界女子ソフトボール選手権大会1年前イベント、東京国際音楽祭、福祉施設でのボランティア演奏など、地域に根ざした演奏活動にも力を注いでいる。また、1996年(平成8年)のオーストリア公演を皮切りに、これまでに10回のヨーロッパ公演を行ってきた。2018年3月には、ドイツのニュルンベルク・マイスタジנגハーレでチャリティーコンサートを行い、2400人の満員のお客様から大きな拍手とスタンディングオベーションをいただいた。2020年3月にも同じマイスタジングハーレでコンサートを開く予定。

2017年度日本学校合奏コンクールグランドコンテスト全国大会金賞受賞。



エルンスト・フォン・マーシャル(指揮) Ernst von Marschall, Conductor

シュバルツヴァルト地方ウインターイベント出身の指揮者。フライブルクにて大学で法律学を学んだ後、同じフライブルクで音楽大学の入学試験を受け合格した。その後、フライブルクでニコラス・チュマチェンコにバイオリンを、シュトゥットガルトでメロス弦楽四重奏団に室内楽を、ヴュルツブルクでギュンター・ヴィヒに指揮を学ぶ。ドイツ指揮者フォーラムに参加。

1996年6月、ファミリーコンサート(バーンスタインとガーシュインの作品)でデュッセルドルフ交響楽団を指揮してデビュー。2000年1月にはラジオ放送でケルン放送交響楽団を指揮する。

オペラの指揮者としては、ハンブルク、エルマウ城でラインハート・デイヴィット・ブレンダーのオペラ「私の愛する青い騎士」を初演。オスカー・ゴットリーブ・プラルのオペラ「ヨゼフ・ズース=オープンハイマー名付けてユード・ズース」をノルドラインヴェストファーレン州の各地で演奏。ドイツでの初めてのテレビ出演は、「ドイツの巨匠」でトーンハレ・ユースオーケストラの指揮者として出演。2002年ベルリンにてドイツ大統領ヨハネス・ラウ後援のヨーロッパ文化財団「プロヨーロッパ」より、若き指揮者の為のヨーロッパ文化賞を受賞する。

2007/2008年シーズンの初めからトーンハレ、デュッセルドルフと契約。

トーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラ Jugendsinfonieorchester der Tonhalle Düsseldorf

ドイツ最初のコンサートホールとして、トーンハレ・デュッセルドルフは2007年度より独自のユースオーケストラ(JSO)を有している。そのコンサートには1000人以上の聴衆が定期的に参加している。

2008年秋には16歳以下の若いJSOが追加され、2010年1月からは子どものオーケストラもでき、定期的に毎週リハーサルをしている。現在、それぞれのオーケストラには約70人の若い音楽家が団員として在籍しており、この3種類のユースオーケストラで約210人の団員が活動している。

JSOはデュッセルドルフ交響楽団と密接に協力しており、選ばれたメンバーがオーケストラを徹底的に指導している。少なくとも年に1回は2つのオーケストラの合同コンサートが開催され、団員は経験豊富で熟達したプロの演奏家と、国際的に活躍する指揮者のもとで演奏している。

このユースオーケストラは定期的に、フランス、イタリア、オーストリアで演奏旅行を行っているほか、イスラエル、中国、そして、この度初めて日本に招待される。デュッセルドルフ市と交流のある千葉県は、芸術的な最も重要なパートナーである。

JSOの元メンバーは、とても厳しいオーディションに合格し、今はライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、ケルン放送交響楽団、そして、バイエルン国立歌劇場、コーミッシェ・オーパー・ベルリン、ニュルンベルク歌劇場、最近では、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団でプロとして演奏している。